

Press Release

2026 年 2 月 16 日

塗りやすく、ムラになりにくい。サロン施術を変える次世代ヘアカラーベース

新規特許「染毛用および毛髪脱色用の第 1 剤組成物 (特許第 7506639 号)」を取得

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルの日本法人、ヘンケルジャパン株式会社(本社:東京都品川区 社長:浅岡 聖二、以下「ヘンケルジャパン」)は、この度、カオリンなどの鉱物粉体を活用し、均一な染まりと使用性を両立させた織毛用および毛髪脱色の第 1 剤組成物の特許を取得しました。

背景と課題

ヘアカラー施術においては、長年「塗布ムラ」「根元の浮き」「放置中の垂れ落ち」といった課題が指摘されてきました。従来のクリームベース処方では、粘度調整や混合性に限界があり、均一な塗布が難しいケースも多く、結果として染め残しや色ブレにつながるがありました。

とりわけサロン現場では、根元部分の浮きによる白髪の染まり不足、仕上がりの均一感の低下、そして施術効率のロスが大きな悩みとなっており、ヘアカラー市場全体でも、“根元の染まりムラ”や“放置中の垂れ落ち”を解消し、より高精度で快適な施術を実現する技術の開発が求められていました。

特許取得の意義

今回の特許取得は、ヘアカラー施術における長年の課題であった「塗布ムラ」「根元の浮き」「垂れ落ち」を大幅に改善する技術に対して認められたものです。これにより、サロンでの施術精度が向上し、染め残しや色ムラのリスクを低減するとともに、施術効率の改善にも貢献します。

また、従来のクリームベースでは難しかった粘度や混合性の最適化が実現可能となることで、施術者にとって扱いやすく、お客様に対しても均一で美しい仕上がりを提供できるようになりました。市場においては、より高品質なヘアカラー体験の提供を支える技術として、今後の製品開発やブランド価値向上に大きく寄与することが期待されます。

特許の概要

本特許は、「酸化剤を含む第 2 剤組成物と混合して使用する染毛用および毛髪脱色用の第 1 剤組成物」に関するもので、カオリン、マイカ、タルクなどの鉱物粉体と特定の界面活性剤、油性成分を最適なバランスで組み合わせることで、従来のヘアカラーで課題とされていた塗布ムラや根元浮き、垂れ落ちを解決します。

【実現した主要性能】

- 根元まで均一に塗布できる「密着性」
鉱物粉体が髪に密着し、白髪染めでもムラを低減
- 放置中の液ダレを防ぐ「粘度安定性」
施術中の頭皮汚れや衣服への付着を抑制
- 混合・塗布がスムーズな「使用感」
界面活性剤と油性成分の最適配合で混ぜやすく、伸びが良い
- 染め上がりの「ムラ低減」および「まとまり感向上」
髪にツヤとしなやかさを付与し、自然で美しい仕上がり

【技術的ポイント】

- ① 鉱物粉体(カオリン、マイカ、タルクのいずれかを配合)
根元浮きを抑え、薬剤を均一に密着させる
- ② 界面活性剤のダブル設計
非イオン性+アニオン性界面活性剤で乳化安定性と塗布性を両立
- ③ 油性成分の複合化
固体高級アルコールと液体油剤を組み合わせ、滑らかな塗布感とツヤ感を実現
- ④ 適正粘度設計
混合性と塗布性を最適化し、プロ・一般ユーザー双方で扱いやすい

この新処方により、サロン施術だけでなくホームケアでも、ムラなく均一で美しい染毛体験を提供することが可能となります。また、成分間の相互作用により、アンモニア臭を抑える効果も確認されており、快適な施術環境の実現にも寄与します。

薬剤の密着性 側頭部ヘカラー剤を塗布



左：鉱物粉体無し 自社カラー基剤 右：鉱物粉体有り 自社カラー基剤

薬剤の密着性 頭頂部ヘカラー剤を塗布



左：鉱物粉体無し 自社カラー基剤 右：鉱物粉体有り 自社カラー基剤

現在の取り組み

本特許技術は、酸化染毛剤や脱色剤などの第 2 剤との組み合わせに対応しており、プロフェッショナルサロン向け製品への展開もすでに進んでいます。

当社では、本技術を応用した新世代のヘアカラー製品を、プロフェッショナル向けおよびホームカラー製品の両領域で展開しており、「根元まで美しく、ストレスのないカラー体験」の提供を実現しています。

今後も本技術を基盤に、研究開発を継続してまいります。

新規特許情報

特許番号: 特許第 7506639 号

発明の名称: 染毛用または毛髪脱色用の第 1 剤組成物

ヘンケルについて

ヘンケルはブランド、イノベーション、テクノロジーにより、産業およびコンシューマー向け事業において世界中の市場をリードしています。アドヒーズブテクノロジーズ(接着技術)事業部門は接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤市場のグローバルリーダーとなっています。コンシューマーブランド事業部門は特にランドリー&ホームケアやヘアの分野において、世界中の市場やカテゴリーをリードする地位を維持しています。ヘンケルには 3 つの強力なブランド、LOCTITE(ロックタイト)、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)があります。2024 度の売上高は 216 億ユーロを超え、営業利益はおよそ 31 億ユーロでした。ヘンケルの優先株は、ドイツ株式指数 DAX のリストに入っております。ヘンケルには長いサステナビリティの歴史があり、具体的な目標を掲げた明確なサステナビリティ戦略を推し進めます。1876 年に創業したヘンケルは現在、世界に約 47,000 名の社員を擁し、多様なチームが強固な企業文化、共通の価値観とヘンケルの社員をひとつにまとめる共通基盤である企業目的「Pioneers at heart for the good of generations」の元に結束しています。さらなる情報はこちら www.henkel.com をご覧ください。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

矢島 環衣子

ヘンケルコンシューマーブランド事業部

プロフェッショナル事業本部 マーケティング本部 コミュニケーショングループ

Email: ruiko.yajima@henkel.com

小野尾 秀美

広報室

Email: hidemi.onoo@henkel.com